

議会運営委員会所管事務調査

研修報告

卷之三

議会運営委員会は、8月5日、6日の2日間、山口県熊

員6名と正副議長、事務局2名、又、今年度は広報委員会と共に研修を行いました。

田布施町の概要是、山口県南東部に位置し、瀬戸内海に面し、人口1万6,736人。我が町よりも少し大きな町であります。町の中央部は平坦で、北西部は山並みがありJR山陽本線田布施駅を中心とし、道路網が四方に放射し、中央を田布施川が流れ、穏やかな町でありました。

又 田村旅庵は世界的には偉
大な政治家の岸信介宰相、又
佐藤栄作宰相が誕生した地で
あります。その恩恵でしようと
か、道路、河川等はきれいに
整備され、素晴らしいまちづ
くりができていたと思います。
我々研修の目的は、一つ
議会の運営状況について。又

二つ目に、議会活性化の取り組みについてであります。

ては、和水町と同様な事項で運営がされていました。議会の内容は、議員定数13名、各委員会、総務文教委員会6名、経済厚生委員会6名、議会運営委員会6名というような組織

あります。特別委員会は
広報広聴調査特別委員会6名
決算審査9名、予算審査9名
というような特別委員会が設
置され、運営に当たつては

非常に活発で有意義な委員会が形成されておりました。

それから二つ目の講演会は、性化に対しては、我々の町が行つていて、一般質問の順序は、原則としてくじで行う

これも我々の町と変わったところです。又、一般質問の方
法は、二通りの方法で行う一つ、全質問、項目につき一



山口県田布施町役場での視察研修

總務文教常任委員會所管事務調查

研修報告

委員長 古閑修一

視察研修日は、平成22年8月19日から8月20日。研修先は、初日に福岡市教育委員会

てはいるものの、一部地域では住宅の整備が進み、児童数が激増している所もある。

学校指導課と福岡市立照葉小中学校で、参加者は総務文教常任委員5名、町職員2名、議会事務局1名。福岡市教育委員会総務部の学校計画課第一課長他3名の職員の方々の対応により①福岡市の教育計画、②学校規模の適正化、③教育施設、④舞鶴中ブロック小中連携校の整備について説明を受け、その後質疑、意見交換を行つた。

福岡市では「公教育の福岡モデル」の推進という事で、小中連携教育の推進を計り、発達段階における区分として、小中9年間を4、3、2と区分し、9年間を見透かしたカリキュラムに基づいて教育指導を推進するとの事で、現在舞鶴中ブロックに於て三つの小学校、一つの中学校の統合再編という事で、施設一体型小中連携校建設に向け、開校

（教育計画） 「教育創造」を
柱にすべての子どもが身につけてほしい大事な事として
「あいさつ、掃除」「自学」「立志」を掲げ、各々重点施策を推進、実行する事。

(学校規模の適正化) 小学校中学校共に、12学級→24学級と適正規模を設定。福岡市全体では、児童数は年々減少し

で、最終的には各々のPTA
総会、各々の地域の総会で決
議をいただき合意を得たとの
事です。